



ひまわり

13号



宮崎西高附属中学校の皆さんです♪

11月11日に県立宮崎西高等学校附属中学校の1年生80名が、都農町の俵石第2遺跡と木戸平第2遺跡の2遺跡に分かれて発掘体験を実施しました。

始まってすぐ、土器や石器などの遺物を見つける生徒もいて、その度に歓声があがっていました。黙々と作業をしながら発見したときの喜びや感動は、生徒たちにとって忘れられない思い出となったようでした。



向原中尾第4遺跡で行われた発掘体験の様子です！

10月31日に、日向市東郷町の向原中尾第4遺跡で19名が参加して開催しました。

日曜日の発掘体験だったので、ご家族での参加が目立ちました。発掘体験はもちろんですが、遺跡内で発見されたおとし穴等の遺構について調査担当者が説明しました。大昔のふるさとに思いをはせる時間となったようです。

**発掘現場で発掘体験
やりました！！**



12月21日に延岡市立三槿小学校の3年生から6年生12名の児童を対象に、延岡市の十郎ヶ尾遺跡で発掘体験を開催しました。

時折雨の降るあいにくの天候でしたが、子どもたちは、当時の生活の跡が残る地層を、注意しながら掘り下げ、土器や石器を発見しようとして懸命見つけていました。



延岡市立三槿小学校の皆さんです！

**皆様！たくさんのご参加
本当にありがとうございました。**

発掘調査速報

1 「小京都の武家屋敷、現る！」

遺跡名 飢肥城下町遺跡
所在地 日南市飢肥
調査期間 平成22年7月12日～平成22年10月21日



石作り暗渠と石組マス

今回の調査地は、飢肥藩の上級家臣団の屋敷地の一角にあたり、掘立柱建物跡、枯れ池跡、井戸跡など江戸時代の武家屋敷を構成する遺構を発見しました。その他、古い会画にも描かれた屋敷割りのために掘られた南北および東西の二条の大溝も見つかっています。遺物については、伊万里焼や瀬戸焼などの陶磁器類を中心に、屋根瓦や小刀などの鉄製品も数多く出土しました。



陶磁器溜まり



埋め罎

2 「古墳時代の工業団地？」

遺跡名 宮ヶ迫遺跡
所在地 宮崎市佐土原町上田島字宮ヶ迫・松木田
調査期間 平成22年8月2日～平成22年11月12日

宮ヶ迫遺跡では、これまでの調査の結果、古墳時代の溝状遺構や土器を埋めた炉を伴った竪穴建物、土器を焼いたとみられる焼成土坑や掘立柱建物、粘土採掘・貯蔵土坑などの遺構を検出しました。遺物は、古墳時代の土師器や須恵器、耳環を出土しています。粘土採掘・貯蔵土坑の検出から、土師器製作の工房があったのではないかと考えられます。



21号土坑遺物出土状況



溝状遺構検出状況

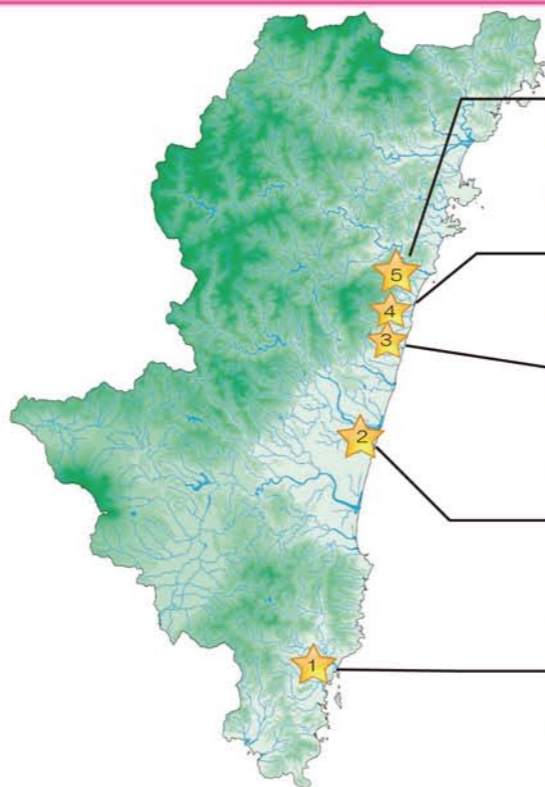


布掘式掘立柱建物跡



8号住居完掘状況

宮崎県埋蔵文化財センターでは平成22年度、たくさんの発掘調査を実施しました。終了した発掘調査の中から、5つの遺跡を紹介します。



向原中尾第2遺跡

舟川第2遺跡

木戸平第2遺跡

宮ヶ迫遺跡

飢肥城下町遺跡

3 「焼失した川沿いの集落」

遺跡名 木戸平第2遺跡
所在地 児湯郡都農町大字川北字木戸平
調査期間 平成22年10月12日～平成23年1月31日



竪穴建物跡検出状況 (SA2/SA4)



竪穴建物跡遺物検出状況 (SA3)



上から鉄鏝・石錘・石鏝・管玉

木戸平第2遺跡では、竪穴建物跡が4軒検出され、3軒の建物跡からは炭化材が多数出土しました。また、屋根を形成していたと思われる草状の炭化材も出土していることから、これらの建物跡は何らかの理由で焼失した建物であることや、このうち1軒は建物を作る時に、より古い建物跡の上に作られたことが分かりました。また、この建物跡から鉄鏝や土器・石斧などの道具や、装飾品である管玉も出土しています。これらのことからこの遺跡は、主に弥生時代後期後半から古墳時代前期の集落とみられ、長い期間集落として営まれていたのではないかと考えられます。

5 「火と人の交わる処」

遺跡名 向原中尾第2遺跡
所在地 日向市東郷町山陰字山ノ口甲
調査期間 平成22年8月11日～平成22年12月28日

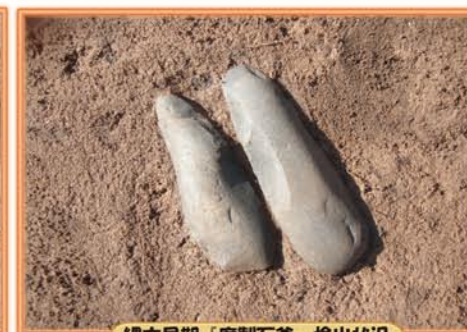
本遺跡は、日向灘を望む屋根上に位置します。この遺跡では、縄文時代早期の集石遺構を17基、弥生時代後期後半から古墳時代前期にかけての竪穴建物跡を7軒検出し、うち4軒は焼失建物でした。集石遺構のなかには掘り込みが炭化物でいっぱいのものであり、火と人の密接な関わりを感じることができます。また、遺跡からは土器、石包丁、石斧など生活道具が出土しました。



焼失建物跡の検出状況



S114「集石遺構」検出状況



縄文早期「磨製石斧」検出状況

4 「狩人たちの痕跡」

遺跡名 舟川第2遺跡
所在地 児湯郡都農町大字川北字舟川、字境谷
調査期間 平成21年10月26日～平成22年8月23日



調査区内から出土した石器

舟川第2遺跡では、後期旧石器時代から縄文時代にかけての遺物が見つかりました。出土した遺物は後期旧石器時代のナイフ形石器、剥片尖頭器、細石刃や縄文時代早期の土器、石鏝などです。また、陥し穴状遺構や赤化した礫がまとまった礫群・集石遺構も見つかり、当時の人々が獲物を捕獲し、この場所で調理をしていた可能性があります。



後期旧石器時代から縄文時代にかけての土坑



集石遺構の様子

ふるさとを語る

出前講座

県内どこでも伺います!



土器をのぞき込む子どもたち

夏休みが始まった7月23日に、門川町立五十鈴小学校へおじゃましました。地元の遺跡について話をしたり、実際に遺物を見たりしていただきました。(4・5・6年生児童対象)

宮崎県埋蔵文化財センターでは、職員が土器や石器などの遺物を持参し、依頼のあった学校や団体の皆様に、お住まいの地域・周辺の歴史についての話をする「出前講座」を行っています。平成22年度は16団体に対して実施しました。対象も先生方、生涯学習の団体など様々です。

時間や場所などご要望に応じて柔軟に対応いたします。

普及資料課までお気軽にご相談ください。

連絡先 宮崎県埋蔵文化財センター分館
普及資料課
TEL0985-21-1600



高鍋東中学校家庭教育学級の皆様

11月17日の夜に高鍋町立高鍋東中学校の保護者の方を対象に行いました。高鍋町内で発掘作業を行った複数の遺跡について紹介し、実際に出土した遺物なども見ていただきました。(家庭教育学級対象)



復元整理作業の体験の様子

7月28日に日向市立美々津小学校の夏季研修として、美々津周辺の歴史や遺跡・遺物の紹介、復元整理の体験で拓本を行いました。(教職員対象)

宮崎県埋蔵文化財センター通信 ひむか 第13号

発行日 2011年3月8日
編集発行 宮崎県埋蔵文化財センター <http://www.miyazaki-archive.jp/index.html>
本館 〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019 TEL(0985) 36-1711
分館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4 TEL(0985) 21-1600